平成２９年度　田村市立瀬川小学校 学校経営グランドデザイン

～　子供達が尊重し合い、協力し合って学び合う学校を目指して　～

学校経営の方針

学校課題を解決し、「知・徳・体」の調和のとれた子供を育成するために・・

１．子供第一主義の経営
２．全教職員の工夫と協働による経営
３．保護者、地域との連携を重視した経営

保護者・教師の願い

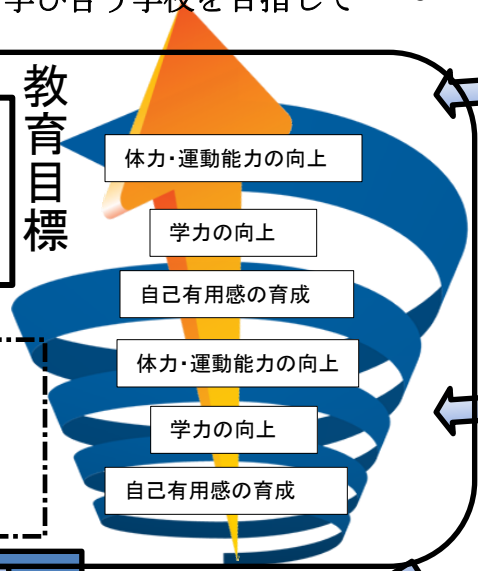
１．確かな学力を身に付けた子供
２．自信を持ち物事に積極的に取り組む子供
３．他のよさを理解し、他を思いやり、仲良く協力し合える子供
４．当たり前の事を当たり前にできる子供
５．健康で体力、運動能力が身に付いた子供

教育目標

○ともに学び合う子供
○思いやりのある子供
○進んで運動する子供

本校の課題

１．確かな学力の向上
２．自己有用感の育成
３．体力・運動能力の向上



時代の要請から

１．確かな学力の向上
２．規範意識、豊かな心・健やかな体、体力・運動能力の育成
３．教職員の資質の向上
４．開かれた学校づくり（地域と連携）
５．個々のニーズに対応した教育の推進

子供の課題

１．「確かな学力」の育成
２．自他のよさを認め合い、協力し合う態度の育成
３．基本的な生活習慣の育成
４．体力・運動能力の育成
５．健康上の課題（う歯、肥満傾向）の解決

確かな学力の向上

目　標

○学習の方法を理解し意欲的に学習に取り組む態度を育成する。
○全国・県学習状況調査において、全国・県平均を達成する。
○ＮＲＴにおいて、オーバーアチーバー増を目指す。

具体的実践事項（実践計画１）

□目指す授業像の共有と実践（瀬川スタンダード）
・子供の学習意欲の向上・子供同士の学び合い
・生徒指導の機能の活用・基礎基本の確実な定着
・活用力の育成　・個に応じた指導
□学びの基礎力の育成
・授業の決まり　・ノート作り
□家庭学習の充実・家庭学習カードの活用　・自主学習の充実・定着確認シートの活用
□個に応じた指導の充実
・ドングリチャレンジ　・朝の学習タイムの充実

自己有用感の育成

目　標

○自他のよさを理解し、協力する態度を育成する。
○「田村っ子のルール10」の身に付いた子供を育成する。
○係活動、委員会活動など他の児童の為に積極的に活動する態度を育成する。
○家庭で役割を果たす態度を育成する。

具体的実践事項（実践計画２）

□道徳の授業の確実な実施と充実
□生徒指導の機能を活かした授業実践
□自他のよさを認め、協力し合える学級経営
□自己の振り返りと困りごと調べの実施と適時指導
□どんぐりコーナー、夢の木の実施（自他を認め合う場）
□縦割り班や委員会活動の充実（みん遊タイム等）
□家庭学習カードによる家庭でのお手伝いの実施
□田村っ子の振り返りカードの活用と共通指導
□ＱＵ検査の有効活用　□SSWの活用
□体験活動の充実　□登下校時のあいさつ運動の実施

体力・運動能力の向上

目　標

○体力・運動能力テストにおいて、全国平均を目指す。
○う歯の未治療者「０」、肥満傾向児童の減少を目指す。
○基本的な生活習慣の身についた子供を育成する。

具体的実践事項（実践計画３）

□運動身体づくりプログラムの確実な実施（体育時）
□体育的行事に向けた練習の充実。
□各大会等の個人記録の累積（運動への意欲の向上）
□日常の外遊びを積極的に行わせる環境作り。
□家庭と連携したう歯や肥満の個別指導の充実。
・希望者による「はかるんですクラブ」の実施
□外部講師の積極的活用による食育、薬物乱用防止指導、環境センターの活用による放射線教育の充実。
□家庭と連携した健康教育の充実
・メディアチャレンジ　・早寝早起き、朝ごはん
・栄養バランスのよい食事

安全･安心な教育環境の整備･保護者や地域の教育力の積極的活用･子供、地域、保護者から信頼される学校･教員（不祥事「０」、成果を上げる学校、教員）